



「色を作ろう!色で表そう!」

(11月19日 成羽町美術館)

鶴鳴保育園(成羽町下原)の年長組の親子26組を対象に、絵の具を使った「にじみ遊び」が行われました。岡山県立大学短期大学部学生の指導で、園児は自分の気持ちを色で表現し、色の美しさや色の不思議を体験しました。保護者は、同大学部の関崎哲助教授の説明で「もっと身近に美術鑑賞を」とのテーマで美術館内の作品鑑賞を行いました。

一日人権擁護委員を委嘱

(12月5日 市内大型店舗)

人権週間(4日~10日)にちなんで、「一日人権擁護委員」として、吉備国際大学の学生5人を委嘱し、人権問題について座談会や街頭宣伝を行いました。市内の大型店舗で行った啓発活動では、人権擁護のPRチラシや啓発物品を市民らに配布し、広く人権尊重を呼びかけました。



弥高山で歩け歩け

(11月13日 川上町高山)

市教育委員会などの主催で「高梁市歩け歩け大会」が開かれました。家族連れなど約200人が参加し、紅葉に包まれた弥高山公園周辺を散策。コース途中には、川上地域にちなんだ10問のクイズが設けられ、参加者は楽しみながらウォーキングしていました。また、昼休みの休憩地点では、農産物の加工品づくりで活躍している地元「かっこう花」のグループにより、豚汁が振る舞われました。

地域みんなで健康に

(11月19日 備中町布賀 やすらぎの里センターハウス)

心と体の健康を目指して、「備中健康づくり大会」が開かれ、地域住民約150人が参加しました。地元保育園児による遊戯や平川ソーランキッズのソーラン節、手話サークル(ホテル)による活動発表、健康なまちづくり応援団によるふれあい体操などが行われました。赤枝郁郎医師による「これからの理想郷~備中町へのメッセージ」と題した講演もあり、参加者は健康についての認識を深めました。



カメラ まちの出来事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし

風ぐるまフェスタ (11月27日 うかん常山公園)

「風ぐるまフェスタ2005inうかん」(同実行委員会主催)が行われ、市内外から訪れた家族連れら約2万人でにぎわいました。“石の風ぐるま”が縁で姉妹縁組した高知県大正町、熊本県山鹿市と市内各地域のグループが和太鼓や銭太鼓などを披露し、交流を深めました。歌手の相田翔子さんのライブやドラえもんショーもあり、会場は大いに盛り上がりしました。



健康でイキイキと (11月12日 総合文化会館)

市は「健康福祉のつどい」を開き、式典や健康相談、高齢者の作品展示など多彩な行事を行いました。式典には約700人が出席。地域福祉やボランティア活動などに携わった人や団体などの表彰。また、いきいきと暮らせる社会の実現に向けた「つどいの宣言」がありました。

市民と学生の交流フェスタ (11月13日 吉備国際大学)

学園文化都市づくり協議会の主催により「市民と学生の交流フェスタ」が行われました。家族連れやお年寄りなど市民約70人と学生13人が参加。備中神楽(備中神楽平川子ども会)の披露ではじまり、「スライムづくり」や「藍染め」、「積み上げ競争」などを一緒に楽しみました。同フェスタは、伊賀祭(学園祭)に合わせ毎年開催されており、今年で10回目。

